

2

「つるおいと活力のあるガーデンシティ」の実現を目指し
田原市総合計画の『第8期実施計画』を策定

Garden City With Full of Charm and Vitality

実施計画

とは、総合計画の基本

計画に定めた施策の実現のために、中期財政計画を基に向こう3年間で実施すべき事業の方針を示すとともに、計画期間中に取り組みべき主要な事業を整理したもので、財政状況や事業の進捗に伴い、毎年度計画の見直しをしています。

計画の概要

●都市経営方針

まちの活力の維持・拡大を図るため、定住人口や交流人口などの増加に対する取り組みや、安心・安全なまちづくりに寄与する取り組みを行います。また、公共施設の適正な配置と最適な維持管理を行う計画の策定と推進を図ります。さらに、進捗状況や緊要性を踏まえ選択した事業への集中投資を行い、早期に事業効果を発揮させ、市民の利便性や満足度を高めるよう努めます。

●中期財政計画

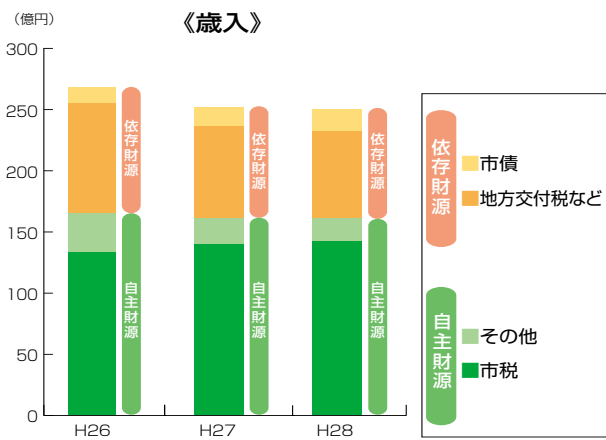
第8期実施計画の期間内に実施す

る事業を決定する際に基礎となる3カ年の一般会計歳入歳出および主要財政指標の見込みです。

【歳入】

自主財源のおよそ8割を占める

市税は、概ね130億円から140億円程度に増加する見込みです。平成26年度は新規事業（園芸農産物振興・農産物流通対策事業）を実施するため、予算規模が272億円程度となりますが、平成27年度以降は260億円



程度に縮小する見込みです。

【歳出】

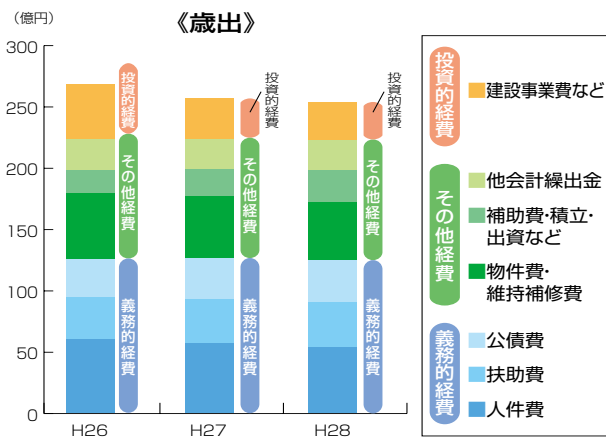
人件費は縮小、扶助費は拡大、公債費は徐々に減少する見込みです。

また、投資的経費は、平成26年度は新規事業の実施により46億円程度となりますが、その後は30億円半ばから前半まで減少する見込みです。

※計画の詳しい内容は市ホームページにて

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

▼政策推進課 ☎23局3507



◆主要財政指標の推移予測

財政指標見込	H25	H26	H27	H28
財政調整基金残高	44 億円	43 億円	42 億円	41 億円
地方債残高（一般会計／合併特例債含む）	252 億円	234 億円	218 億円	202 億円
公債費比率（単年度）	9.0%	8.8%	7.1%	6.4%
自主財源比率	59%	62%	65%	66%
財政力指数（単年度）	0.96	0.97	1.04	1.04

主要財政指標の用語解説

- 【財政調整基金】 予期せぬ収入減や支出増加など、年度間の不均衡を調整するための積立金
- 【地方債】 地方公共団体が発行する公債
- 【公債費比率】 財政の弾力性を示す指標。10%を超えないことが望ましいとされている。
- 【自主財源比率】 歳入全体に対する、税などの自主財源が占める割合
- 【財政力指数】 財政基盤の強弱を示し、需要に対し収入が多い場合1.0を超える。